

練馬区議会公明党が 取り組んでいます！

Nerimakugikai
Komeito

過去最高のプレミアムが付いた 商品券を発行

新型コロナで打撃を受ける区内商店街と区民を応援するため、「ねりまプレミアム付商品券」を発売。これは2020年5月18日、区議会公明党が前川区長に対して緊急要望したことで実現したものです。

プレミアム率は、過去最高の30%。応募締切となった8月14日までに区が想定していた数の2倍を超える応募がありました。2021年2月末まで右記ステッカーのお店で利用できます。



練馬光が丘病院跡地を 新たな医療・福祉拠点へ

2022年、練馬光が丘病院は旧光が丘第四中学校跡地に移転します。区内では少子高齢化が進み、医療・福祉施設等の拡充は喫緊の課題となっています。区議会公明党は練馬光が丘病院跡施設を医療・福祉の複合施設として活用するよう提案しています。

現在、区では跡施設の計画案を作成しており、今後、民間企業の活力を取入れてリハビリや退院支援などの「地域包括ケア」を中心とした複合拠点へ生まれ変わる予定です。今後も、医療・福祉の充実へ全力を挙げていきます。



区民が利用しやすい 区役所窓口の改革

区議会公明党の要望により区役所の窓口改革が進んでいます。

＜主な窓口の変更点＞

・フロアマネジャーの人員を増員

窓口来庁者への申請案内や申請手続きをサポート。

・待ち時間がわかるシステムの導入

スマートフォン・パソコンで混雑状況が確認できるようになりました。

・練馬区民事務所がレイアウトをリニューアル

窓口増設や利用者が迷わないわかりやすいレイアウトになりました。

また、来年からは受付申請書を一括して作成できる新たなシステムが導入される予定です。



▲新しくなった練馬区役所窓口



KOMEITO NERIMA NEWS vol.96

公明党ねりまニュース

発行／公明党練馬総支部 発行責任者／小林健二 発行所／練馬区中村北4-3-8-102

全都立学校に 無線LAN設置へ！

小林けんじ都議と 公明区議の連携で実現！

練馬発

「都立高校に通う子どもが、授業で使う携帯通信料が多くなり困っている」—こんな相談が2019年1月、公明区議のもとに寄せられました。その要望を受けた小林けんじ都議は同年3月の都議会予算特別委員会において、「授業や保護者会でアプリを使用する際にかかる通信のデータ使用量が多くなり通信料の負担が大きい」「全都立高校での無線LANの整備

を早急に進めていくべき」と主張。これにより都教育委員会は、無線LANの整備を含めた都立高校のICT環境の改善に向けた検討を始めました。

小林けんじ都議は2020年2月の都議会定例会でさらに要望。その結果、今年度から3ヶ年計画で全都立学校に無線LANが設置されることになりました。

公明党練馬総支部長 東京都議会議員 小林けんじ

～ごあいさつ～

いつも公明党練馬総支部に温かな励ましを頂き誠にありがとうございます。
私、小林けんじは明年の東京都議会議員選挙予定候補者として公認を頂きました。社会が新型コロナウイルス感染症への不安に覆われる中、政治に求められている使命をしっかりと果たしていくために、総支部12名の議員、団結をして働いてまいる決意です。

今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

1969年10月11日練馬区石神井町生まれ、石神井保育園卒園。
練馬区立光和小学校・練馬区立三原台中学校・都立鷺宮高校・創価大学文学部卒業。

1996年衆議院議員公設秘書（石井啓一・斉藤鉄夫両衆議院議員）
2009年東京都議会議員選挙初当選、現在3期目

現役職

都議会公明党筆頭副政務調査会長、公明党本部青年局次長、
公明党都本部都民運動局長

家族構成

妻・母・義母の四人暮らし

小林けんじ
LINE
公式アカウント



<https://kobaken-komei.com/>

未来に責任。安全・安心の東京へ。 新型コロナ対策に 奮闘する公明党

「都民を守る」 コロナ専用病院を都内に2カ所開設

都議会公明党は、都内の医療機関で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことや中等症患者が増加した現状を踏まえ、小池都知事への緊急要望や議会質問を通して、コロナ専用病院の開設を強力に推進してきました。

これを受けて東京都は、コロナ専用病院として本年9月に渋谷区の東海大学医学部付属東京病院を開設。さらに11月には府中市にある旧都立府中療育センターでの開設を予定しています。両施設とも約100床の計200床の病床を確保し、軽症や中等症の患者を受け入れる予定です。

これにより、切迫している病床利用率の緩和に加え、一般病院の負担軽減につながる効果が期待されます。また今後、都立・公社病院を活用した病床の確保も要望しています。



▲8月17日 小林けんじ都議(左から3人目)が旧都立府中療育センターを視察

「高齢者・障がい者を守る」 施設利用者や職員の PCR検査料を全額補助

東京都は9月3日、令和2年度補正予算案を発表。そこには高齢者施設や障がい者施設を対象に、利用者と職員約15万人のPCR検査費を都独自に全額補助する費用が盛り込まれました。これは都議会公明党が小池都知事に繰り返し要望し実現しました。

対象施設は、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障がい者支援施設/入所施設。施設が実施するスクリーニング検査(無症状者に対し罹患の可能性があるかを調べる検査)の費用を都が補助します。スクリーニング検査の結果、陽性となった場合には、保健所と相談の上、医療機関で改めて診断します。



「中小企業を守る」 国の家賃支援に 都独自で上乗せを実現



都議会公明党は、新型コロナウイルス感染拡大で経営に影響が及んでいる中小企業の家賃負担を軽減するため、国からの「家賃支援給付金」に加え、都としての補助を実現するよう、小池都知事に要望してきました。

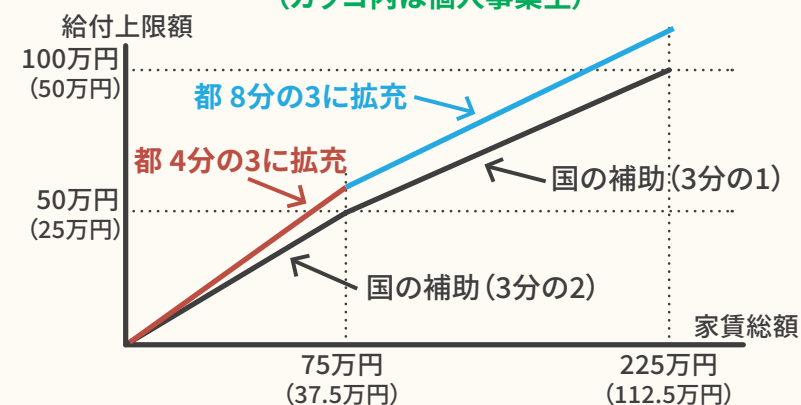
その結果、東京都として国の家賃支援に上乗せした独自の「家賃等支援給付金」を支給することが決定。

中小企業の場合、月額支払い賃料が75万円以下の場合、国の補助「3分の2」に都独自の補助を加えて「4分の3」にします。賃料75万円超の部分は、同様に「3分の1」から「8分の3」に拡充します【右図参照】。拡充分の都の補助は3カ月分を一括支給します。

■東京都家賃等支援給付金コールセンター

☎ 03-6626-3300(午前9時から午後7時)

中小企業等への家賃補助 都独自の拡充 (カッコ内は個人事業主)



「としまえん跡地」を区民に愛される 「城址公園」へ

2020年8月31日、多くの人に愛された「としまえん」が94年の歴史に幕を閉じました。

すでに跡地の一部は、ハリーポッターのスタジオツアー型施設として用途が決まっています。東京都は今後、としまえん跡地を「防災機能を持った都立公園」として整備する予定です。

小林けんじ都議は、2月の都議会一般質問で「練馬城址公園の整備計画を早急に示していくべき」と主張。都も「整備計画の速やかな策定に向け取り組みを進めていく」と答弁。

今後も公明党練馬総支部として都議会、区議会が連携して区民に喜ばれる公園整備に取り組んでまいります。



— 対象区域 — スタジオツアー型施設等の計画位置